結果の概要

1 人口総数

奈良県の人口は142万人

平成 18年 10月 1日の推計人口による本県の人口は 1,416,323人で全国総人口の約 1.1 %を占めている。

大正9年の第一回国勢調査の人口は564,607人であり、86年前と比べると約2.5倍になっている。統計表付表1、40·41頁参照)

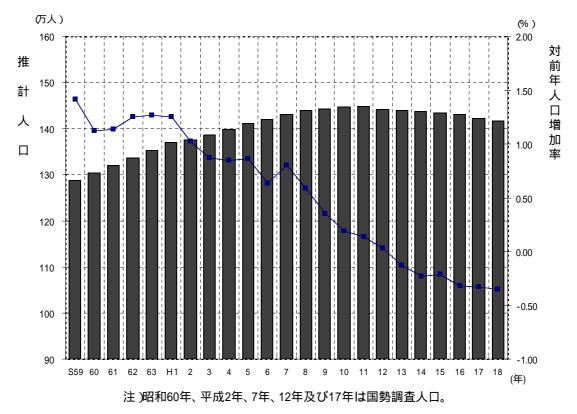


図1 毎年10月1日の人口及び人口増加率の推移

市部人口は全体の78.6%を占める

人口の分布状況を市部 ・郡部別に見ると 市部が 1,113,212人、郡部が 303,111人で、市部が全体の 78.6% を占めている。

市町村別人口規模が大きいのは、奈良市、橿原市、生駒市の順となり、逆に小さいのは、野迫川村、上北山村、黒滝村の順となっている。 統計表第1表、16・17頁参照)

表 1 人口規模の市町村順位

				大きい市町村		小さい市町村		
順位	市町	「村	名	人口(人)	構成比%	市町村名	人口(人)	構成比%
1	奈	良	市	368,989	26.05	野迫川村	724	0.051
2	橿	原	市	124,662	8.80	上北山村	761	0.054
3	生	駒	市	114,294	8.07	黒 滝 村	1,016	0.07
4	大和	郡山	市	91,002	6.43	下北山村	1,207	0.09
5	香	芝	市	71,857	5.07	天 川 村	1,726	0.12

2 人口動態

1年間の人口増加数は、 4,987人、増加率は 0.35%

平成 17年 10月 1日からの 1年間の人口動態を見ると 4,987人の減少、増加率は 0.35% と 前年の 0.33%に比べ低下している。(統計表第 1表、16・17頁参照)

自然増加率は前年を0.01ポイント下回る 0.02%に、社会増加率は前年を0.01ポイント下回る 0.33%となった。また、外国人増加数は前年の262人増から72人減となった。

人口動態を月別に見ると 自然増加は平成 18年 8月の 148人が最高であり、社会増加は人口 移動時期である平成 18年 4月以外はすべて減少となっている。 (表 2・3、3・4頁参照)



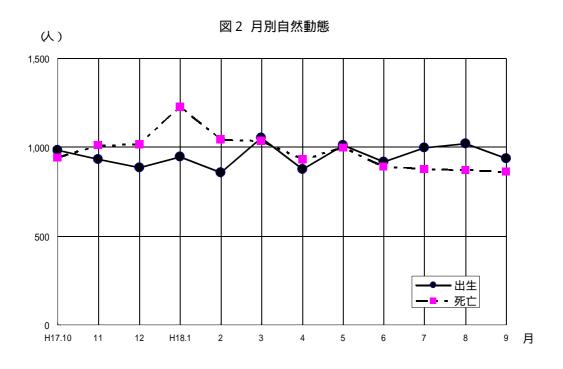
表 2 人口動態 (単位:人)

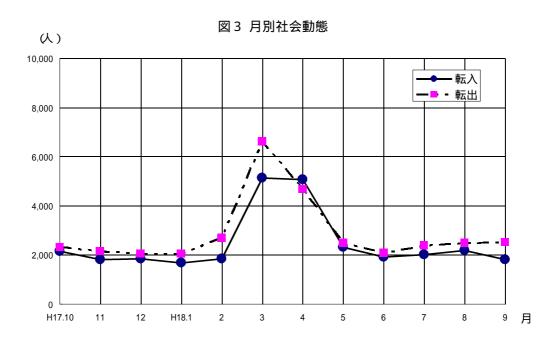
年次	人口	対前年	増加数	自然	増加	社会	増加	外国人
+ //	Λц		率%		率%		率%	増加
昭和61年	1,319,760	14,894	1.14	6,006	0.46	8,875	0.68	13
昭和62年	1,336,256	16,496	1.25	5,749	0.44	10,603	0.80	144
昭和63年	1,353,193	16,937	1.27	5,496	0.41	11,093	0.83	348
平成元年	1,370,135	16,942	1.25	4,946	0.37	11,997	0.89	1
平成 2年	1,375,481	13,993	1.02	4,271	0.31	9,295	0.68	427
平成 3年	1,387,442	11,961	0.87	4,192	0.30	7,067	0.51	702
平成 4年	1,399,276	11,834	0.85	3,956	0.29	7,296	0.53	582
平成 5年	1,411,258	11,982	0.86	3,721	0.27	7,994	0.57	267
平成 6年	1,420,196	8,938	0.63	3,833	0.27	5,030	0.36	75
平成 7年	1,430,862	11,326	0.80	3,561	0.25	7,546	0.53	219
平成 8年	1,439,252	8,390	0.59	3,742	0.26	4,480	0.31	168
平成 9年	1,444,340	5,088	0.35	3,432	0.24	1,547	0.11	109
平成10年	1,447,134	2,794	0.19	3,501	0.24	876	0.06	169
平成11年	1,449,138	2,004	0.14	2,725	0.19	630	0.04	91
平成12年	1,442,795	475	0.03	2,852	0.20	2,337	0.16	40
平成13年	1,440,920	1,875	0.13	2,590	0.18	4,969	0.34	504
平成14年	1,437,611	3,309	0.23	2,149	0.15	5,380	0.37	78
平成15年	1,434,576	3,035	0.21	1,252	0.09	4,212	0.29	75
平成16年	1,429,969	4,607	0.32	960	0.07	5,698	0.40	131
平成17年	1,421,310	4,740	0.33	359	0.03	4,643	0.32	262
平成18年	1,416,323	4,987	0.35	288	0.02	4,627	0.33	72

平成2・7・12・17年の人口は国勢調査確定値であり、増加数(増加率)とは関係しない。

表 3 月別人口動態

年月		+苗 h□ 4公米b		自然動態			社会動態	ŧ .	外国人
_ #	Н	増加総数	出生	死亡	自然増加	転入	転出	社会増加	増加
平成	17年								
	10月	62	981	942	39	2,159	2,300	141	40
	11月	405	931	1,009	78	1,819	2,145	326	1
	12月	303	883	1,014	131	1,840	2,040	200	28
平成	18年 1月	666	945	1,227	282	1,671	2,041	370	14
	2月	1,066	857	1,045	188	1,854	2,685	831	47
	3月	1,472	1,052	1,032	20	5,149	6,600	1,451	41
	4月	464	874	930	56	5,057	4,659	398	122
	5月	270	1,011	997	14	2,309	2,499	190	94
	6月	180	916	890	26	1,924	2,081	157	49
	7月	254	997	875	122	2,017	2,393	376	0
	8月	165	1,019	871	148	2,186	2,488	302	11
	9月	608	938	860	78	1,822	2,503	681	5
į	i†	4,987	11,404	11,692	288	29,807	34,434	4,627	72





人口増加数は香芝市が最多で859人

この 1年間で人口が増加したのは 3市 3町、減少したのは 9市 12町 12村であった。

1年間の人口減少数 4,987人のうち、市郡部別に見ると、市部が 2,872人の減少、郡部が 2,115人の減少となった。

また、市町村別にみると、増加数の多いのは香芝市、生駒市、広陵町、減少数の多いのは奈良市、五條市、大和郡山市の順となっている。(統計表第1表、16頁参照)

表 4 人口増加数の市町村順位

	多い市民	町村	少ない市	町村
順位	市町村名	増加数 (人)	市町村名	増加数 (人)
1	香 芝 市	859	奈 良 市	1,113
2	生 駒 市	608	五 條 市	712
3	広 陵 町	195	大和郡山市	670
4	三郷町	91	大和高田市	596
5	葛 城 市	71	宇 陀 市	517

人口増加率は香芝市が最高で1.21%

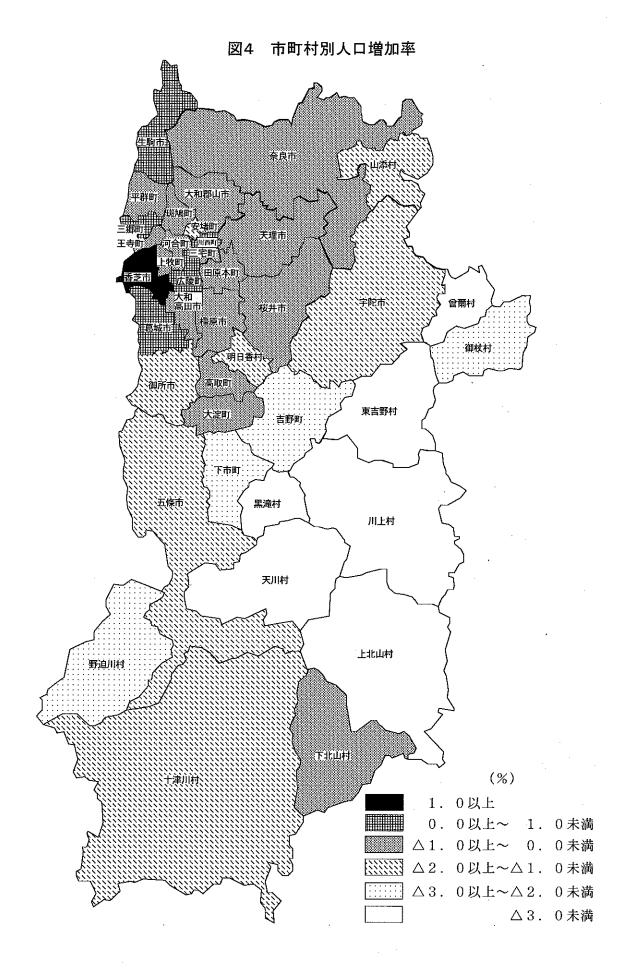
市町村別の人口増加率は香芝市が最も高く、1.21%であった。

次いで広陵町 0.59%、生駒市 0.53% となった。

逆に、増加率が最も低いのが黒滝村 5.58%で、次いで川上村 5.33%、上北山村 5.11%の順となっている。 統計表第1表、16·17頁参照)

表 5 人口増加率の市町村順位

	高い市民	町村	低い市町村		
順位	市町村名	増加率 (%)	市町村名	増加率 (%)	
1	香 芝 市	1.21	黒滝村	5.58	
2	広 陵 町	0.59	川上村	5.33	
3	生 駒 市	0.53	上北山村	5.11	
4	三郷町	0.39	曽 爾 村	4.38	
5	川 西 町	0.29	天 川 村	4.11	



3 人口密度

県人口密度は383.7人/Km²

平成 18年 10月 1日の推計人口による本県の人口密度 (1平方キロメートル当たり人口) は383.7人であった。市 都部別では、市部が875.0人、郡部が125.3人となっている。

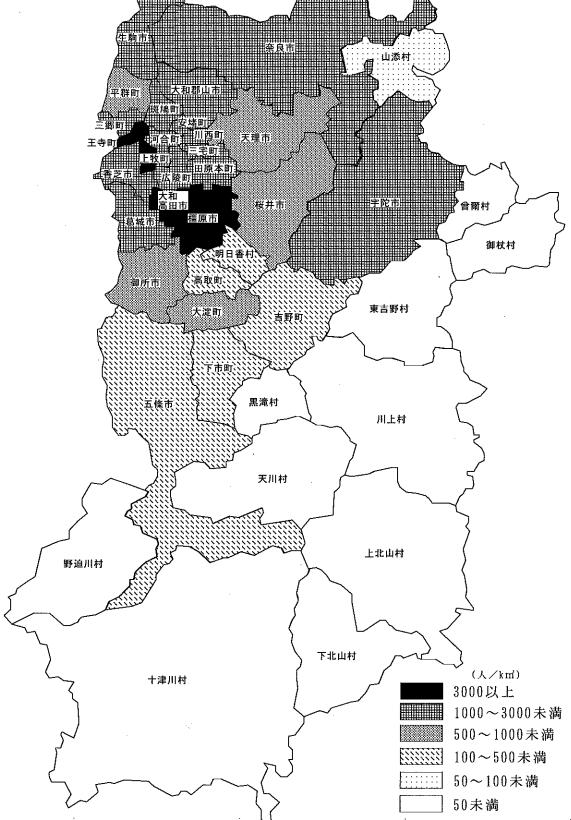
次に市町村別の人口密度をみると、最も高いのが大和高田市の4,257.4人で、次いで上牧町、王寺町の順となっている。

また、最も低いのは上北山村の 2.8人で、最も高い大和高田市の約 1,521分の 1となっている。 統計表第 1表、16・17頁参照)

表 6 人口密度市町村順位

	高い市	町村	低い市町村		
順位	市町村名	人 / km²	市町村名	人 / km²	
1	大和高田市	4,257.4	上北山村	2.8	
2	上 牧 町	4,032.1	野 迫 川 村	4.7	
3	王 寺 町	3,227.3	十津川村	6.4	
4	橿原市	3,154.4	川上村	7.2	
5	香 芝 市	2,965.6	下北山村	9.0	

図5 市町村別人口密度 山添村 桜井市 御杖村 高取町 御所市 東吉野村 大淀町 诃锷克 下市町 黒滝村 川上村 天川村 上北山村 下北山村



4 人口性比 (女子 100人に対する男子の数)

県人口の性比は90.58

本県の男女別人口は、男子 673, 168人、女子 743, 155人で、女子の方が 69, 987人多く、人口性比は 90.58であった。

人口性比の推移をみると、第 1回国勢調査のあった大正 9年から昭和 10年にかけて、全国では 100を超えていたが、昭和 15年国勢調査以降は 100を割っている。本県は一貫して 100未満であり、女子の人口の方が男子より多い。

また、市町村別にみると 野迫川村が最も高く107.45で、十津川村 105.33、天理市 96.48 と続いている。一方、最も低いのは吉野町の 87.31となっている。

統計表第 1表、16·17頁参照)

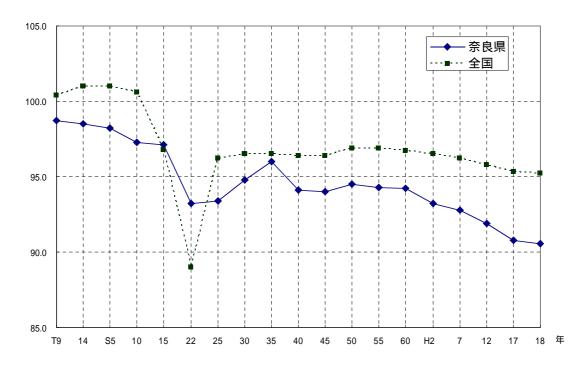


図6 人口性比の推移

平成 18年の全国の数値は、総務省統計局「人口推計月報」による。

平成 18年の奈良県の数値は、奈良県推計人口調査による。

それ以外の数値は、国勢調査による。

5 世 帯

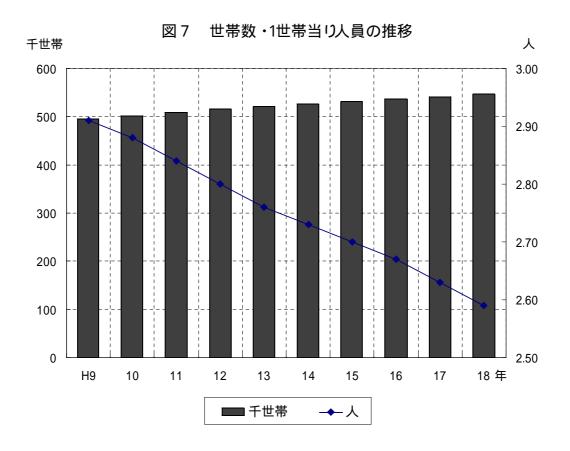
本県の世帯数は54万7千世帯、1世帯当たりの人員は2.59人

平成 18年 10月 1日現在の、本県の住民基本台帳及び外国人登録による世帯数は、546,776世帯で、前年より5,788世帯、率にすると1.07%増加した。

また、1世帯当たりの人員は2.59人で前年より0.04人減少した。

1世帯当たりの人員を市町村別にみると 山添村の3.33人が最も多く、以下広陵町3.09人、明日香村2.93人、田原本町2.862人、葛城市2.856人と続き、逆に最も少ないのは、下北山村の1.81人で、以下川上村1.93人、上北山村2.05人、十津川村2.12人、天川村2.15人と吉野郡に集中している。

(統計表第5表、24頁参照)



6 人口移動(県外)

県外との移動者数は4,627人の転出超過

平成 17年 10月 1日から1年間に県外から転入してきた人は29,807人、県外へ転出した人は34,434人であった。

奈良県では、昭和40年の奈良県推計人口調査が始まって以来転入超過が続いたが、平成10年に初めて転出超過に転じ、平成18年も引き続いて4,627人の転出超過となった。

都道府県別では、新潟県の39人を最高に、13の道県からの転入超過となっており、京都府、東京都、兵庫県の順に、33の都府県への転出超過となっている。統計表第8表、30頁参照)

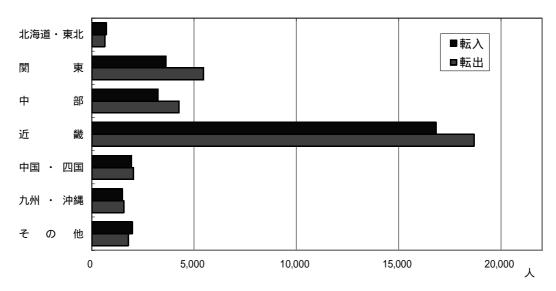


図8 本県と全国ブロック別移動状況

表7 本県と近畿5府県との移動状況

府県名		本県への転入		本県からの転出		転入超過数		
ИЛ	乐	₽		構成比%		構成比%		構成比%
滋	賀	県	561	3.3	750	4.0	189	10.1
京	都	府	2,540	15.1	3,670	19.6	1,130	60.5
大	阪	府	10,801	64.2	10,894	58.3	93	5.0
兵	庫	県	2,140	12.7	2,591	13.9	451	24.2
和	歌山	県	776	4.6	780	4.2	4	0.2
	計		16,818	100.0	18,685	100.0	1,867	100.0

7 人口移動(県内)

県内市町村間移動者数は21,998人

平成 17年 10月 1日から1年間の県内市町村間の移動者数は 21,998人で、前年と比べ 485人減少 した。

また、市町村間の転入転出者の状況をみると、転入超過は7市8町で、転出超過は5市7町12村であった。転入超過数及び転出超過数の主な状況は、次表のとおりである。

(統計表第6表、25頁参照)

表 8 県内市町村間移動の状況

	転入超過の)市町村	転出超過の市町村		
順位	市町村名	転入超過数(人)	市町村名	転出超過数 (人)	
1	奈 良 市	295	大和郡山市	312	
2	香 芝 市	265	大和高田市	253	
3	広 陵 町	228	御所市	172	
4	生 駒 市	199	五 條 市	144	
5	葛 城 市	181	宇陀市	134	

図9 県内市町村間移動者の推移

